

世田谷区立玉川学校 御中




2022年10月1日以降始期用



(統合賠償責任保険)

「学校向けプラン」のご案内

2025年04月



目次

1. ビジサポ「学校向けプラン」とは？
2. ビジサポ「学校向けプラン」の概要
3. ビジサポ「学校向けプラン」の特長
4. (1)特長①の事故例
(2)特長②の事故例
(3)特長③の事故例
5. その他の事故例（基本補償）
6. サイバー・情報漏えいリスクの補償（おすすめオプション）
7. その他のリスクにかかわる補償（おすすめオプション）

1. ビジサポ「学校向けプラン」とは？

- 入試ミス、セクハラ、いじめ、体罰など学校側の責任が問われるケースは増加傾向にあります。
- 万一、トラブルが発生した場合、生徒やその保護者等から損害賠償請求をされることもあります。
- そこで、学校に関する賠償リスクを包括的に補償する「学校向けプラン」（基本補償＋おすすめのオプション特約）をご用意しました。



2. ビジサポ「学校向けプラン」の概要



(統合賠償責任保険)

施設業務特約

-施設・業務遂行中の事故の補償-



おすすめオプション

◀ サイバー・情報漏えい事故補償特約 ▶

◀ 対物超過復旧費補償特約 ▶

◀ 被害事故弁護士費用等補償特約 ▶



生産物特約

-生産物・仕事の結果の事故の補償-

※上記はプラン設計の一例です。貴校のリスク・ニーズに合わせて最適なプランをご提案します。

3. ビジサポ「学校向けプラン」の特長

特長① 施設の使用・管理や教育活動に起因する賠償リスクを包括的に補償！

施設の使用・管理や教育活動に起因する、生徒または第三者の身体の障害・財物の損壊等のほか、入試ミス・セクハラ・いじめ等によって学校が負う賠償責任も補償します。

特長② 生徒※¹や教職員の個人行為に起因する賠償リスクも補償！

学校の指示・管理下において、教育活動を行う時間中に、生徒※¹や教職員が行った学校業務に直接関係のない個人行為による賠償責任も補償します。

特長③ 外部協力員※²や職業体験先企業※³の賠償リスクも補償！

学校・教職員・生徒だけでなく、教育活動に協力いただく方々が負う賠償責任も補償します。

※¹ 大学、専修学校の生徒を除きます。

※² 学校の教育活動に協力する行政協力員等で、教育委員会または学校の名簿に登録された方をいいます。

※³ 幼稚園、大学、専修学校の生徒による職業体験を除きます。また、職業体験先で生徒が行う業務に関する限りにおいて、補償の対象となります。

4.(1) 特長①の事故例

施設業務特約

生産物特約

■ 施設の設置・管理不備の事故による賠償責任



校舎の階段の手すりが壊れてしまい、生徒が転倒して大ケガをしてしまった。

損害額 550 万円



学校の看板が落下し、通行人に大ケガをさせてしまった。

損害額 120 万円

■ 学校の管理下・教育活動中の事故による賠償責任



悪天候にもかかわらず、遠足の登山を決行したところ、大雨によるがけ崩れにあい、生徒に大ケガをさせてしまった。

損害額 1,600 万円



給食が原因で集団食中毒を発生させてしまった。

※ 生産物特約がセットされている場合に限りです。

損害額 800 万円

■ 入試ミス・セクハラ・いじめによる賠償責任



学校内でいじめがあったとして、保護者から訴えられて慰謝料を請求された。

損害額 20 万円

(身体の障害・財物の損壊等を伴わない不測の事故による法律上の損害賠償責任が発生した場合)



学校側の管理不備により入学試験の申込書類が受領できておらず、受験ができなかった生徒から損害賠償を請求された。

損害額 50 万円

4.(2) 特長②の事故例

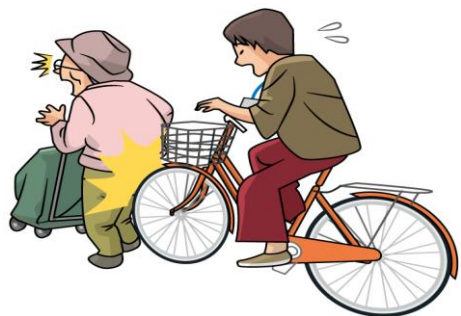
施設業務特約

■ 生徒・教職員の個人行為による賠償責任



生徒が休み時間に友達と悪ふざけをしていて、他の生徒にケガをさせてしまった。

損害額 15 万円



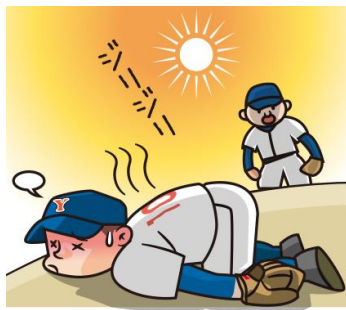
教職員が休憩時間中に食事の買い出しに向かう途中、通行人にぶつかり、大ケガをさせてしまった。

損害額 250 万円

4.(3) 特長③の事故例

施設業務特約

■ 外部協力員や職業体験先企業が負う賠償責任



学校の部活動で外部協力員をコーチとして起用していたが、指導時の安全管理に不備があったため生徒が熱中症になり、コーチが生徒の保護者から損害賠償請求を受けた。

損害額 410 万円



生徒が介護体験中に誤って被介護者にケガをさせてしまい、職業体験先企業が親族から損害賠償請求を受けた。

損害額 55 万円

5. その他の事故例（基本補償）

施設業務特約

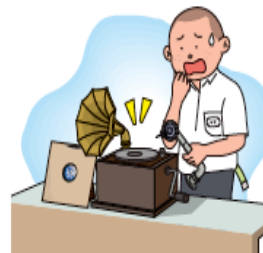
※ 1 事故につき1,000万円限度

■ 学校がリース・レンタルしている物に生じた事故による賠償責任



授業で使用するためにリースしていたパソコンを、漏水事故により破損させた。

損害額 100 万円



授業のために、近所の住民から借りた蓄音機を、授業中に操作をしていた生徒が誤って壊してしまった。

損害額 30 万円

■ 学校が保管している物に生じた事故による賠償責任



生徒のスマートフォンを預かっていたが、保管中に誤って紛失してしまった。

損害額 8 万円

■ 被害者への見舞費用

※ 被害者 1 名につき10万円限度



子供を迎えに来た保護者が、校内の水溜りで滑って転び、怪我をした。損害賠償責任が発生するかは不明であったが、取り急ぎ見舞金を支払った。

損害額 3 万円

6. サイバー・情報漏えいリスクの補償

おすすめオプション

◀ サイバー・情報漏えい事故補償特約 ▶

施設業務特約

サイバー攻撃および情報漏えいに起因して被保険者が法律上の損害賠償責任や各種費用を負担することによって被る損害を補償します。

- 教職員によるメールの誤送信などの突然の情報漏えいリスクに対応
- サイバー攻撃のリスクについても原因調査から再発防止までトータルで補償
- 個人情報保護法改正（2022年4月施行）に対応



生徒の個人情報を記録したUSBメモリを紛失し、損害賠償請求を受けた。

損害額 120 万円



セキュリティ運用会社から、不正アクセスの可能性があると通報を受けた。不正アクセスの有無の調査を外部に依頼したところ、不正アクセスは無かったと判明したが、調査費用が発生した。

損害額 100 万円

支払限度額 損害賠償責任： 1 事故・期間中 5,000万円、1 億円、3 億円のいずれかから選択
費用： 1 回のセキュリティトラブル・期間中 3,000万円

※セキュリティトラブルの種類またはご契約の条件により、限度額が異なる場合や縮小支払割合が適用される場合があります。

7. その他のリスクにかかわる補償

おすすめオプション

◀ 対物超過復旧費補償特約 ▶

施設業務特約

生産物特約

他人の財物の損壊または損壊等について、修理費※が財物の時価額を超えた場合に、その差額の費用を補償します。

※ 損壊等が生じた財物と同一の構造、質、用途、規模、型、能力のものを再取得するのに要する額を限度とします。



借用していた蓄音機を生徒が誤って壊してしまった。修理費が時価額を超えたが、修理費の全額を請求されてしまった。

時価との差額費用 20 万円

支払限度額 1 事故100万円

◀ 被害事故弁護士費用等補償特約 ▶

施設業務特約

他人の行為による事故によって教職員等が被った被害について、損害賠償請求を行う場合の弁護士費用や法律相談費用を補償します。



職員会議のために注文した仕出し弁当により、職員が食中毒になった。弁当販売店が治療費の請求に応じないため、弁護士に依頼し、損害賠償を請求した。

損害額 90 万円

支払限度額 1 事故・期間中100万円

お問い合わせ先

取扱代理店

(所在地)

(TEL)

(FAX)

引受保険会社

日新火災海上保険株式会社

(所在地)

(TEL)

(FAX)

この企画書はビジサポ（統合賠償責任保険）のごく簡単な説明を記載したものです。保険金をお支払いできない場合、保険金の支払条件、支払限度額、その他この保険の詳細につきましては、日新火災ホームページ（<https://www.nisshinfire.co.jp/>）に掲載しているビジサポパンフレットをご参照いただくか、取扱代理店または弊社へお問い合わせください。

RQ862-E 2022.7（新）